

小規模企業景気動向調査

[平成28年4月期調査]

～小売業が悪化に転じ、足踏み状態の小規模企業景況～

2016年5月30日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年4月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…小売業が悪化に転じ、足踏み状態の小規模企業景況…◇

4月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)はわずかに悪化となった。項目別に見ると、売上額DIは不変、採算及び資金繰りDIはわずかに改善となった。経営指導員からは、大きな変化がないが、一部に回復傾向がみられるとの報告がある一方、消費が低調のため企業の資金繰りも厳しい状況にあるとの報告があり、また、熊本地方の地震により観光業を中心に影響が出ており、経営悪化に陥る企業が増えているとの報告があった。

<製造業> ◇…若干の動きがあるものの全体では横ばいとなった製造業…◇

製造業の業況DIは、わずかながら改善となった。項目別に見ると、売上額DIはわずかに悪化、採算及び資金繰りDIは小幅悪化となった。経営指導員から、好転材料として、①食料品関連では、出荷額が増加傾向にあること、②機械・金属製造関連で若干の動きがあったとの報告があった。また、悪化材料として、①水産加工の製造業で仕入値が高騰し採算が悪化している、②機械関連で熊本地震の影響により受注が減少しているとの報告があった。

<建設業> ◇…落ち込んでいた受注が回復し、小幅に改善した建設業…◇

建設業の業況DIは、若干の改善となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは小幅改善、採算及び資金繰りDIは大幅改善となり、全ての項目で改善がみられた。経営指導員から、好転材料として、①消費税増税を見据えた駆け込み需要や震災関係による動きがあった、②設備関連で官公受注が増加したとの報告があった。また、悪化材料として、①公共工事並びに、個人住宅工事が減少している、②材料費の単価上昇により採算が悪化している、③慢性的な人手不足が継続しているとの報告があった。

<小売業> ◇…食料品の仕入価格の上昇や衣料品の動きが鈍く、大幅悪化となった小売業…◇

小売業の業況DIは、大幅悪化となった。項目別に見ると、売上額及び採算DIは小幅悪化、資金繰りDIはわずかに悪化となった。経営指導員から、悪化材料として、①食料品関連の小売業では、仕入単価の上昇により、売上が減少している②衣料品関連の小売業は入学シーズンの動きが鈍く、天候不順で売れ行きが悪いとの報告があった。好転材料として、①土産物関連の小売業では観光シーズンで動きがあった、②年度替わりで、衣料品や日用品で若干の動きがあるとの報告があった。

<サービス業> ◇…熊本地震により観光関連で影響がでているものの、全体としては若干改善したサービス業…◇

サービス業の業況DIは、若干の改善となった。項目別に見ると、売上額DIは変化なし、採算及び資金繰りDIは若干の改善となった。経営指導員から、好転材料として、宿泊関連のサービス業は観光シーズンを迎え動きがでている。また、悪化材料としては、①自動車関連のサービス業で暖冬の影響により修理や除雪の受注が減少している、②九州地方の交通機関が寸断され、観光客が激減しているなどの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 19.8	▲ 19.5	0.3	▲ 14.1	▲ 14.8	▲ 0.7	▲ 18.1	▲ 13.2	4.9
採算	▲ 21.5	▲ 20.9	0.6	▲ 18.3	▲ 22.2	▲ 3.9	▲ 25.3	▲ 17.9	7.4
資金繰り	▲ 17.8	▲ 16.3	1.5	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 2.5	▲ 20.9	▲ 13.1	7.8
業況	▲ 22.9	▲ 23.4	▲ 0.5	▲ 20.8	▲ 19.9	0.9	▲ 21.4	▲ 19.8	1.6

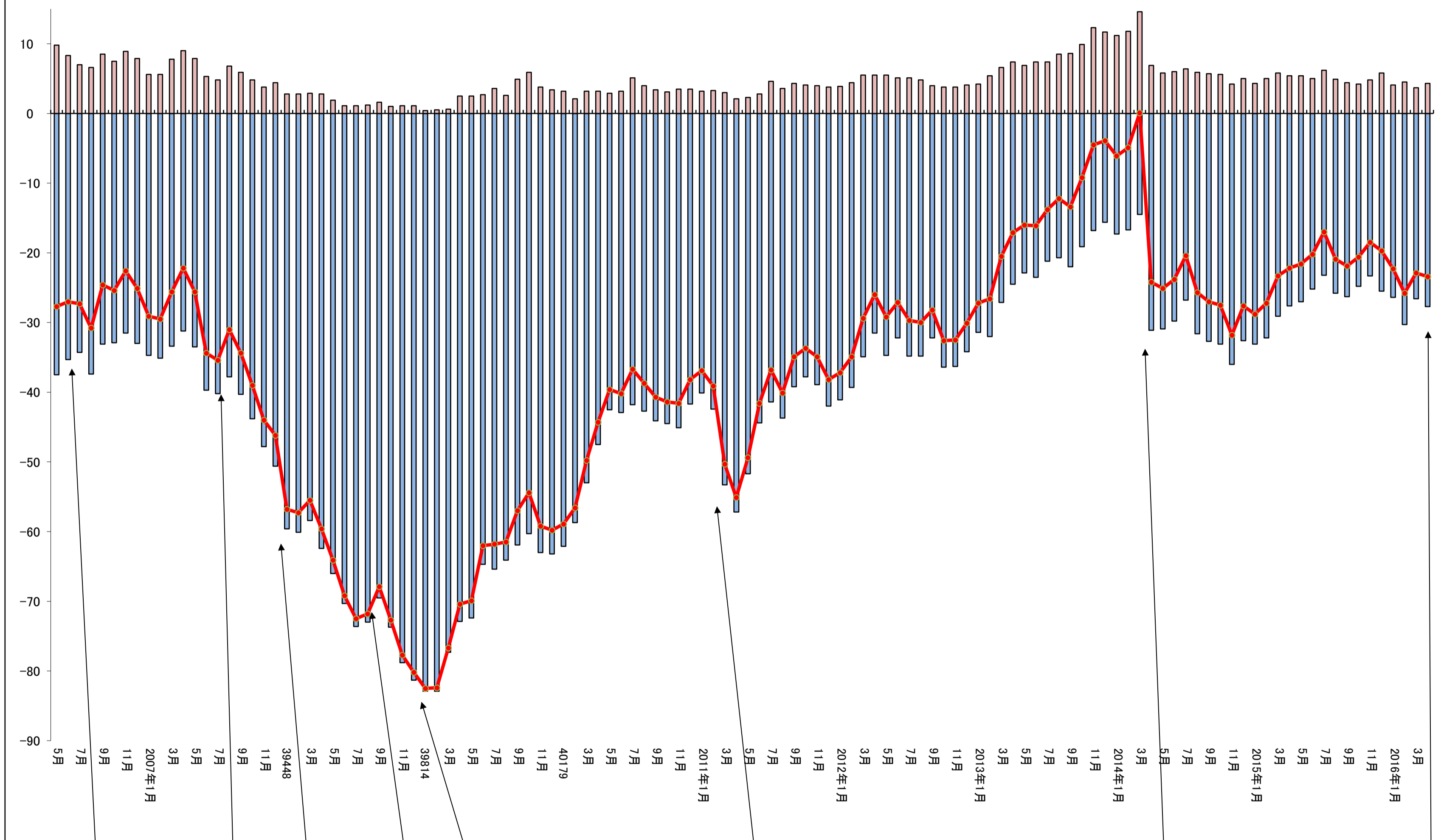
業種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 28.2	▲ 31.2	▲ 3.0	▲ 18.8	▲ 19.1	▲ 0.3
採算	▲ 26.8	▲ 29.4	▲ 2.6	▲ 15.5	▲ 14.0	1.5
資金繰り	▲ 21.1	▲ 21.6	▲ 0.5	▲ 13.9	▲ 13.0	0.9
業況	▲ 29.9	▲ 35.0	▲ 5.1	▲ 19.5	▲ 18.8	0.7

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に
引上げ

16年/4月
-23.4

小規模企業景気動向調査(4月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・好況感はあまり感じられないが一部に回復傾向が見られる

(愛知県小原商工会)

・地域経済業況は、大きな変化がないように感じられる。鋸南町では観光シーズンに入ったこともあり、宿泊業・飲食業は売上等が増えているように感じられる。金融機関の貸出態度も変化がなく、貸し渋り等もない。

(千葉県鋸南町商工会)

・設備投資を考えている事業者が増加。金融機関が地方創生の一環で、創業者へ向けた新たな融資制度を設ける等の動きが見られる。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

・土木・建設業の売上が増が顕著である。

(京都府向日市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・熊本地震により観光業(小売・サービス業)を中心に売上が激減した。特に宿泊業は大打撃を受けており、経営悪化に陥る企業が増えている。

(大分県九重町商工会)

・地域における景況感は未だ停滞している感があり、金融機関の積極融資は堅調な事業所のみに残っている。

(佐賀県牛津芦刈商工会)

・消費が低迷する中で消費税の増税を心配する声も出ています。商業では、大型店に顧客が流れているため、依然として小規模企業は厳しい状況が続いている。

(石川県野々市市商工会)

・消費者の動向としては買い控え傾向が続き、消費が低調で企業の資金繰りも厳しい状況にある、マイナス金利導入による企業融資の需要を感じるほどではない。

(宮城県本吉唐桑商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・金属加工業は全般に売上が堅調であるが単価は厳しい。

(静岡県吉田町商工会)

・機械・金属製造関連の受注が若干動き出した。

(宮城県丸森町商工会)

・食品製造業は企業間格差はあるものの、出荷額も増加傾向にあり、経営状況は少しずつ良化している。

(島根県石中央商工会)

・自動車部品関連業は、震災の影響もあり受注が微増となっている

(静岡県函南町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・水産加工業の製造業は仕入値の高騰などから採算性が悪くなってきている。

(千葉県鋸南町商工会)

金属関連の製造業は円高による影響がじわじわ出始め、売上が少し下がってきている。機械関連の製造業は熊本地震の影響により受注が減ってきている事業所がある。

(福岡県小竹町商工会)

・光学機器関連の製造業は元請け業者からの受注が減ったことにより状況が悪い傾向にある

(長野県南箕輪村商工会)

・大手機械製造業の下請け企業は、原材料費の高騰やコスト削減等厳しい取引条件下の基取引量も減少していることから資金の遣り繰りに苦労している。海外向けや中国向け等の携帯電話のパーツ製造企業も取引相手の景況感悪化により厳しい状況となっている。

(石川県志賀町商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・消費税増税に伴う駆け込み需要もあり、受注状況は良い。やや人手不足感がある。

(静岡県沼津市商工会)

・建設業全般ではあるが、以前は落ち込んでいた受注も回復傾向である。しかし、人材不足で人件費の高騰は継続している。

(兵庫県太子町商工会)

・設備関連の建設業は年度末地方公共団体の仕事が増えたため仕事状況はあるといったことであるが下請け業者は元請け業者から入金が遅いため資金繰りは苦しい状況になっている

(長野県南箕輪村商工会)

・震災絡みの仕事がさっそく入ってきたため、昨年同期に比べて動きとしては良い。

(福岡県芦屋町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・太陽光発電の需要が落ち着いたことにより、関連する建設業者は減収となっている。
(佐賀県牛津芦刈商工会)
- ・前年と比べると、公共工事、個人住宅工事が少なく売上は減少。
(北海道乙部町商工会)
- ・一般土木建設業では、砕石、生コン等材料費の単価が上昇し利益が圧迫されている。公共事業では、労務費の単価は上昇したが工事単価が変わらず材料費同様厳しい状況です。また、建設業は慢性的な人出不足で小規模企業には若い従業員が中々集まらない。
(石川県野々市市商工会)
- ・公共工事が減少していることに加え、工事単価も下落傾向にある。
(秋田県由利本荘市商工会)

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・土産物関連の小売業は観光シーズンの影響もあり、売上・集客数は増加傾向にある。
(千葉県鋸南町商工会)
- ・衣料品小売業は、学生衣料販売が中心で4月は大きな変化がみられない。食料品小売業についてはイベントが好天に恵まれ売りに寄与した。
(埼玉県荒川商工会)
- ・依然として消費者の節約志向ではありますが、前年度と比べると若干ではあるものの売上は増加しています。
(岐阜県北方町商工会)
- ・引き続き消費需要は低迷しているが、年度替わりに当たり、衣料品、日用品等で若干の動きが出たか。3月に再開した共同店舗についてもまずまずの集客を見ているが、桜の観光時期と重なったこともあり、顧客の定着度合を見るにはもう少し時間が必要。
(島根県雲南市商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・食料品関係の小売業は仕入価格が上昇している。売上も減少傾向にあり採算は厳しくなってきた。
(北海道乙部町商工会)
 - ・衣料品に関しては、入学シーズンのため、売上が増加する時期であるが、児童・生徒数の減少により前年同月より売上減となった事業所が多い。耐久消費財に関しては、島外資本の大型店、通販等の台頭により、年々売上高が減少傾向にある。
(長崎県対馬市商工会)
 - ・雪の降雪量が少なかったため除雪等に使う燃料等の売上が減少した。又、暖冬のため灯油等の使用が少なく売上減少した。近隣市町村の弱電工場の閉鎖等により全体的に経済状況は悪い。
(福島県会津美里町商工会)
- 天候不順で、生鮮品も高値で推移している。衣料品も、気温の変化で売れ行きは悪く全体的に消費の動きは鈍い。
(香川県さぬき市商工会)

5. サービス業

＜改善傾向を示すコメント＞

- ・宿泊関連のサービス業は、観光シーズンの影響もあり、売上・集客数は増加傾向にある。
(千葉県鋸南町商工会)
- ・昨年3月北陸新幹線の開通、原子力発電所施設の防災工事等により町内の宿泊業、大型スーパー等は好況が続いている。
(石川県志賀町商工会)
- ・宿泊業に関しては、「真田丸」効果等により、観光客が増加しつつある。
(和歌山県紀の川市商工会)
- ・島外からの観光客が増え、地元産品も好調で設備投資を計画している。
(愛媛県上島町商工会)

＜悪化傾向を示すコメント＞

- ・九州の鉄道、高速道路が寸断されている状況であり、フェリー、高速船での入込客がまったくない状況であり、観光客が激減している。ゴールデンウィークも厳しい状況が想定される。
(鹿児島県屋久島町商工会)
- ・観光関連のサービス業は、雪が少なく春スキーが例年より早く終了したため例年より宿泊客が減少している。
(新潟県能生商工会)
- ・自動車板金関連のサービス業は、暖冬の影響により修理がほとんどなく、又、除雪に関しても例年の半分以下の売上となり資金繰りを圧迫している。
(山形県上山市商工会)
- ・理容関連サービス業は客単価の変動はないが、来店客数の減少により採算が悪化している。
(宮城県本吉唐桑商工会)